

積算基準の運用（積算参考資料Ⅰ）正誤表 1 / 3

ページ	誤	正																												
156	<p>6. 均しコンクリートについて</p> <p>一般構造物の均しコンクリートは、厚さ 10 cm を標準とする。(18－8－40)</p> <p>なお、土質等によりこれにより難い場合は担当課と協議されたい。</p> <p>7. 捨てコンクリートについて</p> <p>鉄筋構造物で岩盤に接して築造する場合は、底面部に捨てコンクリートとして t＝10 cm を計上する。</p> <p>但し、設計図面には捨てコンクリートは明示しないものとし、数量総括表へ記載方法は次のとおりとする。</p> <table><tr><th>工 種</th><th>種 別</th><th>個 別</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量（今回）</th><th>摘 要</th></tr><tr><td></td><td>本 体 工</td><td></td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>コ ン ク リ ー ト</td><td></td><td>m³</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>捨てコンクリート</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr></table>	工 種	種 別	個 別	規 格	単位	数量（今回）	摘 要		本 体 工			式	1				コ ン ク リ ー ト		m³	100				捨てコンクリート		式	1		<p>6. 均しコンクリートについて</p> <p>一般構造物の均しコンクリートは、厚さ 10 cm を標準とする。(18－8－40)</p> <p>なお、土質等によりこれにより難い場合は担当課と協議されたい。</p> <p>「7. 捨てコンクリートについて」を削除</p>
工 種	種 別	個 別	規 格	単位	数量（今回）	摘 要																								
	本 体 工			式	1																									
		コ ン ク リ ー ト		m³	100																									
		捨てコンクリート		式	1																									

ページ

243

誤

正

1-3-2 玉石（岩砕）張歩掛（10㎡当り）

表-3. 1 玉石（岩砕）張歩掛（10㎡当り）

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
割詰石	控20cm外	㎡	1.2	購入する場合
玉石（岩 砕）	控20cm内外	㎡	1.2	流用する場合
コンクリート	18-12-20BB	㎡	0.8	
普通作業員		人	3.2	法面整形、小運搬共
諸雑費				
合計				

本表には、運搬距離20m程度の小運搬距離を含む。

令和7年4月1日以前の設計による工事のみ適用可。

1-3-3 間詰コンクリート

- 1) 堤体間詰コンクリートは掘削地山の岩盤線までとする。但し、上面の土砂層があり、土砂の埋戻し並びに法面保護工を施工する場合は、間詰コンクリートは堤敷部より厚さ1.0mまでとする。
- 2) 間詰コンクリートは堤体と同時打設を行なうものとし、別途間詰用型枠を計上すること。

図-3 間詰コンクリートの施工範囲

- 3) 間詰型枠施工歩掛は外部、内部型枠と同様とする。

1-3-2 玉石（岩砕）張歩掛（10㎡当り）

表-3. 1 玉石（岩砕）張歩掛（10㎡当り）

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
割詰石	控20cm外	㎡	1.2	購入する場合
玉石（岩 砕）	控20cm内外	㎡	1.2	流用する場合
コンクリート	18-12-20BB	㎡	0.8	
普通作業員		人	3.2	法面整形、小運搬共
諸雑費				
合計				

本表には、運搬距離20m程度の小運搬距離を含む。

令和7年3月31日以前の設計による工事のみ適用可。

1-3-3 間詰コンクリート

- 1) 堤体間詰コンクリートは掘削地山の岩盤線までとする。但し、上面の土砂層があり、土砂の埋戻し並びに法面保護工を施工する場合は、間詰コンクリートは堤敷部より厚さ1.0mまでとする。
- 2) 間詰コンクリートは堤体と同時打設を行なうものとし、別途間詰用型枠を計上すること。

図-3 間詰コンクリートの施工範囲

- 3) 間詰型枠施工歩掛は外部、内部型枠と同様とする。

547

## 誤

[illegible]

正

[illegible]